

1. レポートの種類と出力内容

ビリングレポート／大代表構成内訳書にはレポート構造や出力内容等の違いから以下の2種類のレポートがあります。

※なお、どちらのレポートも媒体フォーマットは共通です。

項目 種類	レポート構造	出力内容等
請求単位のレポート	<p>【レポート作成単位】 請求単位</p> <p>※複数請求書のグルーピングが可能です。複数請求書でグルーピングした場合、作成される媒体はグルーピングした単位で一つとなります。またその場合、全ての請求書は同一料金群（請求タイミング）である必要があります。</p>	<p>【請求単位の金額の出力】 請求単位の金額（預り金、延滞利息等）は最若番の組織の組織別集計レコードに出力します。</p> <p>【組織／部課コードの指定】 組織コード、部課コードの指定は任意です。 ※組織コード、部課コードは番号別明細内訳書、ホスト課金内訳書と共通で使用します。</p> <p>【組織／部課の集計レコードの出力】 組織コード、部課コードを指定しない場合でも、内訳レコード・組織単位、内訳レコード・部課別単位の2レコードは必ず出力されます。（この場合、組織コード、部課コードのコード値にはスペースが出力されます。）</p> <p>【回線単位内訳の出力有無】 回線単位の内訳レコードの出力有無が選択可能です。</p>
任意の回線グループのレポート	<p>【レポート作成単位】 任意の回線グループ</p> <p>※グルーピングする回線は同一料金群の範囲である必要はありません。 例えば、異なる請求タイミング（A群とC群）の回線をグルーピング可能です。この場合、別途レポートの作成群をご指定頂くことになりますが、作成される媒体はグルーピングした単位で一つとなります。</p>	<p>【請求単位の金額の出力】 請求単位の金額（預り金、延滞利息等）は出力されません。 ※請求金額と不一致となるケースが発生します。</p> <p>【組織／部課コードの指定】 組織コード、部課コードの指定は必須です。（例えば部課が存在しないような場合でも、ダミーの部課コードの指定が必要となります。） ※組織コード、部課コードは番号別明細内訳書、ホスト課金内訳書、上記ビリングID単位のレポートとは別に指定頂けます。</p> <p>【組織／部課の集計レコードの出力】 組織コード、部課コードをダミーで指定された場合でも、内訳レコード・組織単位、内訳レコード・部課別単位の2レコードは必ず出力されます。（この場合、組織コード、部課コードのコード値には指定されたダミーコードが出力されます。）</p> <p>【回線単位内訳の出力有無】 回線単位の内訳レコードは必ず出力されます。（出力有無の指定はできません。）</p>

2. TEXT形式ファイル仕様

(1) FDのファイル仕様

項番	項——目	内——容			
1	対象	提供サービスに限定はありません。			
2	FDサイズ	3.5インチ			
3	フォーマット形式	2HD		2DD	
		1.25MB	1.44MB	640KB	720KB
4	最大出力件数 —(圧縮時)—	2,200 レコード	2,500 レコード	1,200レコード	
		—(36,000)—		—(20,000)—	
5	使用コード	MS-DOS: JISコード IBM: EBCDICコード			
6	レコード長	MS-DOS: 固定長。512バイト+2バイト —(復帰、改行コードが付加されます)— IBM: 固定長。512バイト			
7	ファイル形式	MS-DOS: 固定長テキストファイル形式 IBM: 固定長ファイル形式 —(1枚に収容されない場合は、同一ファイル名で、複数枚作成します。)—			
8	ファイル名	B+会社コード (会社コード→弊社がお客様識別するために付与した識別コード5桁) —例: B12345 圧縮時: B+会社コード+拡張子 —例: B12345nn.exe (nn: FD作成通番。 01~99)—			

(2) MO、CD-Rのファイル仕様

項番	項目	内 容	
1	対象	提供サービスに限定はありません。	
2	媒体種類	MO	CD-R
3	フォーマット形式	128MB	650MB
4	最大出力件数 (圧縮時)		
5	使用コード	MS-DOS:JISコード	
6	レコード長	MS-DOS:固定長 512バイト+2バイト (復帰、改行コードが付加されます)	
7	ファイル形式	MS-DOS:固定長テキスト形式	
8	ファイル名	B or X+会社コード B:ビリングレポートを表示 X:大代表構成内訳書を表示 (会社コード→弊社がお客様識別するために付与した識別コード 5桁) 例:B12345 圧縮時:B+会社コード+拡張子 例:B12345nn.exe(nn:FD 作成通番。01~99)	

(3) 圧縮について

お客様提供データの圧縮希望時は、フリーソフトウェアの「高圧縮書庫管理プログラム LHA」を使用し、自己解凍形式(プログラム形式)で圧縮しています。

圧縮したデータの解凍手順…① パソコンのハードディスクにコピーする。
② ファイルを実行する。
以上で圧縮したデータが自動的に解凍されます。

3. ファイル構造

(1) データレコードの構造

管理 レコード	共通 レコード		内訳 レコード	内訳 レコード							内訳 レコード	内訳 レコード
------------	------------	--	------------	------------	--	--	--	--	--	--	------------	------------

(2) 組織 ID 指定の場合の内訳レコードの構造

内訳 レコード ・組織 単位	～	内訳 レコード ・組織 単位
-------------------------	---	-------------------------

組織毎の構成

(3) 組織 ID、部課別 ID 指定で回線指定なしの場合の内訳レコードの構造

内訳 レコード ・組織 単位	内訳 レコード ・部課 別単位	内訳 レコード ・部課 別単位	～	内訳 レコード ・部課 別単位	内訳 レコード ・組織 単位	内訳 レコード ・部課 別単位	内訳 レコード ・部課 別単位	～	内訳 レコード ・部課 別単位			
-------------------------	--------------------------	--------------------------	---	--------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------	---	--------------------------	--	--	--

1 組織単位の構成

(4) 組織 ID、部課別 ID 指定で回線指定ありの場合の内訳レコードの構造

内訳 レコード ・組織 単位	内訳 レコード ・部課 別単位	内訳 レコード ・回線 単位	～	内訳 レコード ・回線 単位	内訳 レコード ・部課 別単位	内訳 レコード ・回線 単位	～	内訳 レコード ・回線 単位	～	内訳 レコード ・部課 別単位	内訳 レコード ・回線 単位	内訳 レコード ・回線 単位
-------------------------	--------------------------	-------------------------	---	-------------------------	--------------------------	-------------------------	---	-------------------------	---	--------------------------	-------------------------	-------------------------

1 部課単位
の構成

4. レコード形式

(1)管理レコード

ユーザグループID	顧客ID	課金ID	レポートID	レコード識別 [11]	予備	組織ID	部課別ID	サービスセンタコード	予備	媒体識別	ファイル作成月日	料金月	料金群	請求回数	詳細群	予備
5	8	10	10	2	7	3	6	8	100	3	6	4	1	1	1	337

(計、512 桁)

(2)共通レコード

ユーザグループID	顧客ID	課金ID	レポートID	レコード識別 [21]	予備	組織ID	部課別ID	予備	定額料 利 用 期 間		通話料 利 用 期 間		請求金額合計	請求件数	予備
									初日	末日	初日	末日			
5	8	10	10	2	7	3	6	28	4	4	4	4	12	8	397

(計、512 桁)

(3)内訳レコード・組織単位

ユーザグループID		顧客ID	課金ID	レポートID [31]	レコード識別 [50]	内訳種別	予備	集約サービスコード	非電話サービス種類	レポートID	組織ID	部課別ID	専用線ID		会社識別	予備	レコード通番
													企業等コード	付加コード			
5		8	10	10	2	2	2	2	1	10	3	6	7	5	1	10	6

請求内訳 1									請求内 2 ~ 10	請求内訳 11									回線数	減算不能区分	予備
会社識別コード	網種別	内訳コード1	予備	内訳コード2	再掲表示	割引前金額	割引後金額	税区分		会社識別コード	網種別	内訳コード1	予備	内訳コード2	再掲表示	割引前金額	割引後金額	税区分			
2	1	3	1	4	1	10	10	2	306	2	1	3	1	4	1	10	10	2	8	1	39

(計、512 桁)

(4) 内訳レコード・部課別単位

ユーザグループID	顧客ID	課金ID	レポートID	レコード識別 [31]	内訳種別 [60]	予備	集約サービスコード	非電話サービス種類	レポートID	組織ID	部課別ID	専用ID 企業等コード	付加コード	会社識別	予備	レコード通番
5	8	10	10	2	2	2	2	1	10	3	6	7	5	1	10	6

請求内訳 1									内 求 2 ～ 請求内 訳 10	請求内訳 11								回 線 数	減 算 不 能 区 分	予 備	
会社 識別 コード	網 種 別	内 訳 コード1	予 備	内 訳 コード2	再 掲 表示	割 引 前 金額	割 引 後 金額	税 区 分		会社 識別 コード	網 種 別	内 訳 コード1	予 備	内 訳 コード2	再 掲 表示	割 引 前 金額	割 引 後 金額				税 区 分
2	1	3	1	4	1	10	10	2	306	2	1	3	1	4	1	10	10	2	8	1	39

(5) 内訳レコード・回線単位

(計、512 桁)

ユーザグループID	顧客ID	課金ID	レポートID	レコード識別 [31]	内訳種別 [70]	予備	集約サービスコード	非電話サービス種類	レポートID	組織ID	部課別ID	専用ID 企業等コード	付加コード	会社識別	回線番号	レコード通番
5	8	10	10	2	2	2	2	1	10	3	6	7	5	1	10	6

請求内訳 1									内 2 ~ 内 10 請求 内 訳 請求	請求内訳 11								予 備	減 算 不 能 区 分	予 備	
会社 識別 コード	網 種 別	内 訳 コード 1	予 備	内 訳 コード 2	再 掲 表 示	割 引 前 金 額	割 引 後 金 額	税 区 分		会社 識別 コード	網 種 別	内 訳 コード 1	予 備	内 訳 コード 2	再 掲 表 示	割 引 前 金 額	割 引 後 金 額				税 区 分
2	1	3	1	4	1	10	10	2	306	2	1	3	1	4	1	10	10	2	8	1	39

(計、512 桁)

5. レコード内容

(1) 管理レコード

項番	項 目 名	区別	桁数	内 容
1	ユーザ`ク`ル`フ`ID	文字	5	オール「0」
2	顧 客 I D	文字	8	オール「0」
3	課 金 I D	文字	10	オール「0」
4	レポ ー ト I D	文字	10	レポートIDを設定
5	レ コ ー ド 識 別	文字	2	「11」
6	予 備	文字	7	オール「スペース」
7	組 織 I D	文字	3	オール「スペース」
8	部 課 別 I D	文字	6	オール「スペース」
9	サービ`ス`センタ`コート`	文字	8	NTT のセンタ`コード`を設定
10	予 備	文字	100	オール「スペース」
11	媒 体 識 別	文字	3	媒体識別を設定 FD…「FD△」 MO…「MO△」 CD-R…「CDR」 ビリングステーションご契約の場合…「BS△」(注1)
12	フ ァ イ ル 作 成 日	文字	6	西暦で年月日を設定 例: 2019年4月3日 → "190403"
13	料 金 月	文字	4	西暦で年月を設定 例: 2019年4月 → "1904"
14	料 金 群	文字	1	料金群を「1」～「6」で設定 詳細は「項番6(注)料金群・詳細群の表示内容」参照
15	請 求 回 数	文字	1	同一請求番号で同一月内に請求書発行した回数 (料金群変更時等) 再発行は対象外 通常発行時はスペースを設定
16	詳 細 群	文字	1	詳細群を「A」～「V」、「1」～「9」で設定。 詳細は「項番6(注)料金群・詳細群の表示内容」参照
17	予 備	文字	337	オール「スペース」

(注1): ビリングステーション

ビリングステーションとは、電話等サービスの「料金・通話明細データ」を専用 Web サーバーからダウンロードできるオンラインサービスです。

(2) 共通レコード

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	ユーザグループID		文字	5	オール「0」
2	顧客ID		文字	8	オール「0」
3	課金ID		文字	10	オール「0」
4	レポートID		文字	10	レポートIDを設定
5	レコード識別		文字	2	「21」
6	予備		文字	7	オール「スペース」
7	組織ID		文字	3	オール「スペース」
8	部課別ID		文字	6	オール「スペース」
9	予備		文字	28	オール「スペース」
10	定額料	初日	文字	4	定額料の利用期間初日(MMDD)を設定
11	利用期間	末日	文字	4	定額料の利用期間末日(MMDD)を設定
12	通話料	初日	文字	4	通話料の利用期間初日(MMDD)を設定
13	利用期間	末日	文字	4	通話料の利用期間末日(MMDD)を設定
14	請求金額合計		数字	12	作成単位の請求金額合計を設定
15	請求件数		文字	8	オール「0」
16	予備		文字	397	オール「スペース」

(3)内訳レコード・組織単位

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	ユーザグループID		文字	5	オール「0」
2	顧 客 I D		文字	8	オール「0」
3	課 金 I D		文字	10	オール「0」
4	レポ ー ト I D		文字	10	レポートIDを設定
5	レ コ ー ド 識 別		文字	2	「31」を設定
6	内 訳 種 別		文字	2	「50」を設定
7	予 備		文字	2	オール「スペース」
8	集約サービスコード		文字	2	オール「スペース」
9	非電話サービス種類		文字	1	オール「スペース」
10	レポ ー ト I D		文字	10	レポートIDを設定
11	組 織 I D		文字	3	お客様が指定した組織IDを設定
12	部 課 別 I D		文字	6	オール「スペース」
13	専用線ID	企業等コード	文字	7	オール「0」
14		付加コード	文字	5	オール「0」
15	会 社 識 別		文字	1	オール「0」
16	回 線 番 号		文字	10	オール「スペース」
17	レ コ ー ド 通 番		文字	6	先頭内訳レコードを1とした連番を設定
18	請求内訳1	会社識別コード	文字	2	「03」…長距離 「05」…PHS 「04」…携帯 「06」…ポケベル
19		網 種 別	文字	1	「1」…電話 「2」…パケット 「3」…専用線 「4」…国際 「5」…OCN 「6」…テガルス 「7」…法人 「8」…その他網(回収代行) 「9」…消費税が網種類を跨って合算された場合
20		内 訳 コ ー ド 1	文字	3	コード表「項番7、請求内訳コード」参照
21		予 備	文字	1	オール「0」
22		内 訳 コ ー ド 2	文字	4	・コード表「項番7、請求内訳コード」参照 ・内訳コードが複数存在しない場合は、オール「スペース」
23		再 掲 表 示	文字	1	「0」を設定
24		割 引 前 金 額	数字	10	オール「0」を設定
25		割 引 後 金 額	数字	10	請求金額を設定
26		税 区 分	文字	2	コード表「項番4、税区分コード」参照

27	請求内訳 2 ～ 請求内訳 1 0			306	1レコード内に最大11請求内訳が記録される。 ①請求内訳1から順に記録 ②11に満たない部分は満たない請求内訳n 以降の請求内訳欄は項目に属する初期値(数字は「オールゼロ」、文字は「オールスペース」)を記録 ・請求内訳が12を超えた場合は次の内訳レコードを追加して超えた請求内訳を①、②に従い記録。
28	請求内訳 11	会社識別コード	文字	2	項番18～26と同じ
29		網 種 別	文字	1	
30		内 訳 コ ー ド 1	文字	3	
31		予 備	文字	1	
32		内 訳 コ ー ド 2	文字	4	
33		再 掲 表 示	文字	1	
34		割 引 前 表 示	数字	10	
35		割 引 後 表 示	数字	10	
36		税 区 分	文字	2	
37	回 線 数		文字	8	組織配下の回線数を記録
38	減 算 不 能 区 分		文字	1	「スペース」
39	予 備		文字	39	オール「スペース」

(4)内訳レコード・部課別単位

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	ユーザグループID		文字	5	オール「0」
2	顧客ID		文字	8	オール「0」
3	課金ID		文字	10	オール「0」
4	レポートID		文字	10	レポートIDを設定
5	レコード識別		文字	2	「31」を設定
6	内訳種別		文字	2	「60」を設定
7	予備		文字	2	オール「スペース」
8	集約サービスコード		文字	2	オール「スペース」
9	非電話サービス種類		文字	1	オール「スペース」
10	レポートID		文字	10	レポートIDを設定
11	組織ID		文字	3	お客様が指定した組織IDを設定
12	部課別ID		文字	6	お客様が指定した部課別IDを設定
13	専用線ID	企業等コード	文字	7	オール「0」
14		付加コード	文字	5	オール「0」
15	会社識別		文字	1	オール「0」
16	予備		文字	10	オール「スペース」
17	レコード通番		文字	6	先頭内訳レコードを1とした連番を設定
18	請求内訳1	会社識別コード	文字	2	「03」…長距離 「05」…PHS 「04」…携帯 「06」…ポケベル
19		網種別	文字	1	「1」…電話 「2」…パケット 「3」…専用線 「4」…国際 「5」…OCN 「6」…テガルス 「7」…法人 「8」…その他網 「9」…消費税が網種類を跨って合算された場合
20		内訳コード1	文字	3	コード表「項番7、請求内訳コード」参照
21		予備	文字	1	「0」を設定
22		内訳コード2	文字	4	・コード表「項番7、請求内訳コード」参照 ・内訳コードが複数存在しない場合は、オール「スペース」
23		再掲表示	文字	1	「0」を設定
24		割引前金額	数字	10	オール「0」を設定
25		割引後金額	数字	10	請求金額を設定
26		税区分	文字	2	コード表「項番4、税区分コード」参照

27	請求内訳 2 ～ 請求内訳 1 0			306	1レコード内に最大11請求内訳が記録される。 ①請求内訳1から順に記録 ②11に満たない部分は満たない請求内訳n 以降の請求内訳欄は項目に属する初期値(数字は「オールゼロ」、文字は「オールスペース」)を記録 ・請求内訳が12を超えた場合は次の内訳レコードを追加して超えた請求内訳を①、②に従い記録。
28	請求内訳 11	会社識別コード	文字	2	項番18～26と同じ
29		網 種 別	文字	1	
30		内 訳 コ ー ド 1	文字	3	
31		予 備	文字	1	
32		内 訳 コ ー ド 2	文字	4	
33		再 掲 表 示	文字	1	
34		割 引 前 表 示	数字	10	
35		割 引 後 表 示	数字	10	
36		税 区 分	文字	2	
37	回 線 数		文字	8	部課別配下の回線数を記録
38	減 算 不 能 区 分		文字	1	「スペース」
39	予 備		文字	39	オール「スペース」

(5)内訳レコード・回線単位

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	ユーザグループID		文字	5	オール「0」
2	顧客ID		文字	8	オール「0」
3	課金ID		文字	10	オール「0」
4	レポートID		文字	10	レポートIDを設定
5	レコード識別		文字	2	「31」を設定
6	内訳種別		文字	2	「70」を設定
7	予備		文字	2	オール「スペース」
8	集約サービスコード		文字	2	オール「スペース」
9	非電話サービス種類		文字	1	・非電話サービス種類を設定。コード表「項番6、非電話サービス種類」参照 ・非パケット時:スペース
10	レポートID		文字	10	レポートIDを設定
11	組織ID		文字	3	お客様が指定した組織IDを設定
12	部課別ID		文字	6	お客様が指定した部課別IDを設定
13	専用線ID	企業等コード	文字	7	専用線のデータの時設定、以外はゼロ設定
14		付加コード	文字	5	専用線のデータの時設定、以外はゼロ設定
15	会社識別		文字	1	専用線のデータの時「3」設定、以外はゼロ設定
16	回線番号		文字	10	回線番号を設定
17	レコード通番		文字	6	先頭内訳レコードを1とした連番を設定
18	請求内訳1	会社識別コード	文字	2	「03」…長距離 「05」…PHS 「04」…携帯 「06」…ポケベル
19		網種別	文字	1	「1」…電話 「2」…パケット 「3」…専用線 「4」…国際 「5」…OCN 「6」…テガルス 「7」…法人 「8」…その他網 「9」…消費税が網種類を跨って合算された場合
20		内訳コード1	文字	3	コード表「項番7、請求内訳コード」参照
21		予備	文字	1	スペース
22		内訳コード2	文字	4	・コード表「項番7、請求内訳コード」参照 ・内訳コードが複数存在しない場合は、オール「スペース」
23		再掲表示	文字	1	「0」を設定
24		割引前金額	数字	10	オール「0」を設定
25		割引後金額	数字	10	請求金額を設定
26		税区分	文字	2	コード表「項番4、税区分コード」参照

27	請求内訳 2 ～ 請求内訳 1 0			306	1レコード内に最大11請求内訳が記録される。 ①請求内訳1から順に記録 ②11に満たない部分は満たない請求内訳n 以降の請求内訳欄は項目に属する初期値(数字は「オールゼロ」、文字は「オールスペース」)を記録 ・請求内訳が12を超えた場合は次の内訳レコードを追加して超えた請求内訳を①、②に従い記録。
28	請求内訳 1 1	会社識別コード	文字	2	項番18～26と同じ
29		網 種 別	文字	1	
30		内 訳 コ ー ド 1	文字	3	
31		予 備	文字	1	
32		内 訳 コ ー ド 2	文字	4	
33		再 掲 表 示	文字	1	
34		割 引 前 表 示	数字	10	
35		割 引 後 表 示	数字	10	
36		税 区 分	文字	2	
37	回 線 数		文字	8	オール「0」を設定
38	減 算 不 能 区 分		文字	1	・回線単位の請求額が1円以上の場合:「0」を設定 ・回線単位の請求額が0円またはマイナスとなる場合:「1」を設定
39	予 備		文字	39	オール「スペース」

6. 各種コード等

（１）利用内訳コード

請求する料金には、NTTコミュニケーションズと、携帯電話等、PHS、ポケットベルへの通話料等、複数会社の料金が含まれていますが、本利用内訳コードはどの会社のご利用料金を示すためのコードです。

コード	ご 利 用 会 社 名 等
03	NTTコミュニケーションズ株式会社
04	（注１） 携帯電話等へのご利用分
05	（注１） PHSへのご利用分
06	（注１） ポケットベルへのご利用分

（注１） 携帯電話会社、PHS会社、ポケットベル会社は複数ありますが、ここで言う「●●●へのご利用分」とは、NTTの固定網から携帯電話等（自動車電話も含みます）、PHS、ポケットベルに通話／通信した単位にとりまとめた料金であり、各会社毎には表示はいたしません。

（２）税区分コード

税区分コードは、消費税の計算方法等を示すためのコードです。

コード	区分	消 費 税 の 計 算 方 法
10	内 税	料金の中に税が含まれている料金。 消費税を計算する場合は、「料金×５％÷１０５％」の計算式で算出 （ただし、消費税が５％の場合）
11	合 算	合算表示の料金を集計した結果に消費税率を掛けて税計算する料金。 なお、この税は「消費税相当額（合算）」の料金内訳で表示。
13	非対象等	消費税の課税対象外の料金（免税及び、非課税対象料金も含みます）
15	個 別	１件（１通、１工事）単位に、消費税率を掛けて税計算する料金。 なお、この税は「消費税相当額（個別）」の料金内訳で表示。
80	（注）	「消費税相当額（個別）」の料金内訳コードに対して固定で表示。
90	（注）	「消費税相当額（合算）」の料金内訳コードに対して固定で表示。
00	（注）	各会社毎の「（小計）」の料金内訳コードに対して固定で表示。

（注）① １円未満の端数計算については、上記表の計算方法の結果で、１円未満を切り捨てます。

② 税改正時、現行の税率、新税率が一時期混在するので、改正時のコード等については、別途通知いたします。

③ 消費税相当額を表す料金内訳コードに対して、消費税相当額（個別）を「８０」、消費税相当額（合算）を「９０」固定で表示いたします。

④ 各会社毎の請求金額については、「（小計）」として請求内訳コードを設定して出力を行うため「（小計）」の請求内訳コードに対しての税区分コードは、「００」を固定で表示いたします。

⑤ 「消費税相当額」につきましては、各会社毎に消費税計算を行うため、各会社毎に消費税相当額の内訳コードが、発生します。

(注)料金群・詳細群の表示内容

料金群は、弊社(NTTCom)が、お客さまの支払い期限に合わせて「1(A)」～「6(F)」で設定、
詳細群は「A」、「F」、「L」、「Q」、「V」、「5」で設定します。

群		詳細群	毎月のお支払期限 (標 準)	ご利用料金の計算期間
数字	英字			
1	A	A	20日	前々月の21日～前月の20日
2	B	F	25日	前々月の26日～前月の25日
3	C	L	31日	前月の1日～前月の末日
4	D	Q	5日	前月の6日～当月の5日
5	E	V	10日	前月の11日～当月の10日
6	F	5	15日	前月の16日～当月の15日

【注】支払期限が、土曜日、日曜日、祝日の場合、翌営業日が支払い期限となります。

7. 内訳額マイナス時の記録形式について

(1) IBM (EBCDICコード)

(例)

マイナス 金 額	表示 形式	内訳金額欄									
		1 桁 目	2 桁 目	3 桁 目	4 桁 目	5 桁 目	6 桁 目	7 桁 目	8 桁 目	9 桁 目	10 桁 目
-100	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D0
-101	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D1
-102	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	K
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D2
-103	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	L
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D3
-104	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	M
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D4
-105	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	N
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D5
-106	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	O
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D6
-107	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	P
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D7
-108	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	Q
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D8
-109	文 字	0	0	0	0	0	0	0	1	0	R
	16進	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F0	F1	F0	D9

注、F0～F9：数字「0」～「9」の16進数表示。

D0～D9：マイナスサイン付き数字「0」～「9」の16進数表示。

(2)DOS(JIS8コード)

(例)

マイナス 金 額	表 示 形 式	内訳金額欄									
		1 桁 目	2 桁 目	3 桁 目	4 桁 目	5 桁 目	6 桁 目	7 桁 目	8 桁 目	9 桁 目	10 桁 目
－100	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	30
－101	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	31
－102	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	32
－103	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	33
－104	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	4
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	34
－105	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	5
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	35
－106	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	6
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	36
－107	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	7
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	37
－108	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	8
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	38
－109	文字	－	0	0	0	0	0	0	1	0	9
	16進	2D	30	30	30	30	30	30	31	30	39

注、2D: マイナス「－」の16進数表示。30～39: 数字「0」～「9」の16進数表示。